

令和元年 12 月遠野市議会定例会一般質問

質 問 者	質 問 の 要 旨	答 弁 者
<p>菊池 浩士 議員 (一問一答)</p>	<p>1 遠野市の防災について 遠野市防災センターと自主防災組織との連携について伺う。 (1) 台風19号による市内の被害と避難者の状況について (2) その中で今後改善すべきことがあるか。 (3) 消防、市役所、自主防災組織の連携と情報共有について (4) 情報共有のためのケーブルテレビの活用と、各避難所へのケーブルテレビ受信設備の設置を検討する必要があると思うが、市長の考えを伺う。 (5) 災害時要支援者名簿は作成されているか。 (6) 災害時要支援者名簿を平時に提供可能とする条例の制定の考えについて</p>	<p>市 長</p>
<p>瀧本 孝一 議員 (一問一答)</p>	<p>1 厚生労働省が9月下旬に公表した病院再編計画と、県立東和病院について (1) 県内では 10 施設、中部医療圏では県立東和病院が再編。統合の対象となったが、この再編計画をどのように受け止めたのかについて (2) 公立・公的病院の存在意義と使命について (3) 東和病院の宮守町民の利用実態と認識について (4) 宮守町民や市民の不安払拭について (5) 今後の対応や、花巻市との連携について (6) 人口減少社会における、地方や中山間地の持続可能で望ましい医療体制への対応について</p> <p>2 災害時やイベント等で大きな効果を上げている、移動設置型トイレレーラーの導入について (1) 移動設置型トイレレーラーの認識とその効果や実績の把握について (2) 災害時の避難所や各種イベント等への配置と、被災自治体への融通支援について (3) 東北初、早期導入の考えについて (4) 寄付金やクラウドファンディング、ふるさと納税等を活用した導入と、けん引免許取得支援について (5) 派遣災害トイレネットワークプロジェクトへの参加について</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>
<p>佐々木敦緒 議員 (一問一答)</p>	<p>1 本市の基幹産業農業の振興について 本市基幹産業の農業振興対策に停滞が感じられる。国や県の枠や制度を超え、市独特の振興を図ることが必要と考える。市長の見解を伺う。 (1) 農業生産額が減少した要因は何かについて伺う。 (2) 岩手畜産協会への寄稿で農業振興の形が見えて来たたと述べている、その形について伺う。 (3) 遠野市農林水産振興ビジョンの効果について伺う。 (4) 牛の飼養頭数、農家戸数などが減少してきている。この対策案について伺う。 (5) 農政、農業土木、畜産、林業に卓越する職員の育成と長期の配属が必要と思うが見解を伺う。 (6) ワサビ田の増反及びホップなど高収益作物の面積拡大のため、営農地の団地化が必要と思うが見解を伺う。 (7) 水田農業振興のため、経営所得安定対策産地交付金に市単独補填等を行うべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>2 早瀬川緑地公園の施設向上・整備について 早瀬川緑地公園のトイレ等施設の向上対策が急務と考える。市長の所見を伺う。 (1) 早瀬川緑地公園に小さな更衣室を備えた水洗化トイレと、ベンチに取り外し可能な簡易屋根の設置が必要と思うが見解を伺う。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>

<p>小松 正真 議員 (一問一答)</p>	<p>1 一般社団法人遠野ふるさと公社について (1) 本年度実績について (2) 債務超過の可能性について (3) 本年度の退職者数について (4) 新規経営改革3か年計画の概要について (5) 過去の実績の分析について (6) 株式会社化について (7) 平成31年度(令和元年度)の計画について (8) 役員の実任について</p>	<p>市長</p>
<p>萩野 幸弘 議員 (一問一答)</p>	<p>1 人口維持政策の現状について 本市の人口減少問題に関し、様々な分野から見た人口維持対策の現状等について伺う。 (1) 遠野スタイル創造・発展総合戦略で示した人口推移や見通しの現状と今後の対策等について (2) 「小さな拠点づくり」の取組に係る市民周知について (3) 第2期遠野スタイル創造・発展総合戦略における人口維持対策について (4) 交流人口から見た人口維持対策等について (5) 観光の基幹産業化に向けた取組等について (6) 駅舎建替えの市民理解と進捗状況について (7) わらすっこ条例改正に係る基本理念について (8) 関係人口拡大対策について (9) ダイバーシティのまちを目指す取組について (10) 今後の人口維持拡大に向けた決意について</p>	<p>市長</p>
<p>菊池 美也 議員 (一問一答)</p>	<p>1 コミュニティスクールについて 遠野市におけるコミュニティスクールの推進について伺う。 (1) 現状の学校運営について、課題としてとらえているものはあるか。 (2) 文部科学省が推進しているコミュニティスクールについてどのように考えるか。 (3) コミュニティスクール制度を推進する目的は何か。 (4) 遠野型コミュニティスクールの特徴は何か。 (5) 推進するにあたっての課題は何か。 (6) 今後のコミュニティスクールの展開について</p>	<p>教育長</p>
<p>佐々木僚平 議員 (一括質問)</p>	<p>1 岩手県立遠野病院の充実と働き方改革について 10月30日付け地元紙の報道「県立遠野病院の看護師 離職相次ぐ」をどのように捉えているのか。 (1) 外来と病棟看護の一元化、労働環境の実態(働き方改革)について (2) 遠野病院に対する相談苦情の情報共有を定期的に行ってきたのか伺う。 (3) 市内ただ1か所の県立病院。市民、患者が安心してかかれる病院を目指しての取組について</p> <p>2 補聴器購入の公的補助について 障がい者認定のない軽中等度難聴者に対する国の制度、自治体の支援について伺う。 (1) 市内の難聴者の人数と難聴者のとらえ方について伺う。 (2) 補聴器普及の対策について</p>	<p>市長 市長</p>
<p>小林 立栄 議員 (一括質問)</p>	<p>1 ICT(情報通信技術)利活用の推進を 地域課題の解決・地域活性化に向けて、産学官でICTを利活用する取組について伺う。 (1) シェアリングエコノミーの利活用について (2) オープンデータ・ビッグデータの利活用について (3) ICT人材の育成について (4) 情報基盤整備(ケーブルテレビ網のFTTH化)について (5) ICT利活用の計画策定について</p> <p>2 読書活動のさらなる推進へ</p>	<p>市長 教育長</p>

	<p>読書には人間力を高め、人生を豊かにする力がある。読書活動の充実と地域の「知の拠点」である図書館の機能強化について伺う。</p> <p>(1) 読書活動の推進について (2) 読書通帳の取組について (3) 書籍消毒器の導入について (4) ビブリオバトルの取組について (5) レファレンスサービスの取組について</p> <p>3 手話言語条例の制定を</p> <p>手話とは、音声ではなく手や指、体などの動きや顔の表情を使う、独自の語彙や文法体系をもつ言語である。手話を必要とする人が手話を使って暮らし、共に生きる地域づくりを推進するため、「言語としての手話の認識」・「手話の習得の機会の確保」を目的とした手話言語条例を制定すべきと考えるが、所見を伺う。</p>	市 長
佐々木恵美子議員 (一問一答)	<p>1 医療に関する不安や負担を和らげるために</p> <p>市外で入院医療を受ける家族、本人の負担を和らげるために滞在できる場所の必要性について。</p> <p>2 小さな拠点と地域交通の構築について</p> <p>生活、福祉、交通を合わせた地域交通の構築を急ぐべきと考えるが、進捗状況と今後について伺う。</p>	市 長 市 長
多田 勉 議員 (一問一答)	<p>1 鱒沢地区センター整備計画の進捗状況について</p> <p>鱒沢地区センターの整備計画について、現在の取組状況と今後の予定について伺う。</p> <p>(1) 前期計画の前倒しで、31年度に土地買収が完了しているが、今後の整備計画について伺いたい。</p> <p>(2) 地区センター機能が宮守地区センターと同じ場所に事務所を構えて、地区計画の在り方など、推し進めてきているが、そのような環境の中で鱒沢地区の地域づくりが順調に推移していると理解してよいか。</p> <p>(3) 今まで協議してきた地区との合意形成をどのように受け止めて来たのか。</p> <p>2 遠野市農林水産業の支援に対する新たな取組を</p> <p>タフビジョンに基づいた遠野市の一次産業の振興を図ってきたが、年々伸び悩む現状に対応した推進体制の構築が必要ではないか。考えについて伺う。</p> <p>(1) 花巻農業協同組合宮守・上郷支店統廃合後の活用計画がどのように推移しているのか。</p> <p>(2) 本市の一次産業を再び強いものに導き、担い手の育成が活発に進むことを期待するが、将来像をどのように描こうとしているのか。</p> <p>(3) 農林水産業の基盤強化を図るためには、現状と課題を把握することが重要である。実態把握と生産、販売に特化した組織（仮称）遠野市農業指導センターを設置すべきと考えるが、見解を伺う。</p>	市 長 市 長

